

学識者からの計画内容に関する主な意見

分野	意見内容
観光	・広域観光・インバウンド観光の促進で、日本海と太平洋を結ぶとすると、みなとオアシス、海の駅に加えて道の駅もあることを記載しては。
	・観光文化について、文化財の活用に加えてそれを自然災害、人災から守るという観点も必要。
	・拠点的な観光資源だけでなく、地元の資源を活かした観光地域づくり戦略が必要。NPO等が活躍するDMO(観光地域マーケティング組織)のような組織が必要。
産業	・今後、農産物は6次産業化によっていろいろな可能性がある。
	・里海ができた後、そこに魚介類などが戻ってきて水産業につながる。産業とのつながりが薄いので将来性を考慮してほしい。
	・里山資本主義発祥の地として、公共施設建て替えの時期にCLTを利用したものができないか。
環境	・瀬戸内海的环境保全に関して、水質はきれいになりつつあるが、生物の生息、生育環境保全を先に示し、次に清掃活動を示した方が良い。
人材育成	・中国圏・四国圏の中山間地域・島しょ部発の取組も多いため、中国圏・四国圏の連携テーマの中で、人づくり、地域づくりを追加すべき。 ・これらが、コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス等にもつながっていくと考えられる。
都市	・四国との連携においては拠点が必要。中小都市ばかりの山陰において、中海・宍道湖・大山圏域のような連携した取組は重要。
防災	・瀬戸内海において、コンビナートが非常に大きな役割を果たしていることについて、触れておく必要がある。
その他	・連携テーマ相互の関係性や順序について、分かりやすい組立が必要。